

フィンレイソンリス (*Callosciurus finlaysonii*) に関する情報 (案)

○原産地：ベトナム、タイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー等

○定着実績：国内での定着事例は知られていない。国外ではシンガポール（文献⑥）、イタリア（文献①）での定着事例がある。

○評価の理由

- 原産地ではタイワンリスと類似した生息地選択、食性を示しており、野外放逐されれば国内でも温暖地域を中心に定着するおそれがある。
- 国内に定着すれば、植物や昆虫類などに対する食害、在来種のニホンリスや鳥類などとのニッチ重複による競争排除、果樹などの農林業に対する被害などが予想される。

○被害の実態・被害のおそれ

（１）生態系に係わる被害

- 原産地では原生林、二次林、植林地や公園など、多様な森林環境に生息しており、生息地選択の幅は広い（文献⑥⑦）。
- イタリアでの定着地は温帯の地中海性気候に属し、冬季の平均気温は 10℃程度である（文献③）。国内でも温暖な地域の気候は類似しており、定着の可能性は高い。
- 系統的にタイワンリスに近縁であり、生態的特性は類似しているため、同様な生態系に係わる被害が予想される（文献⑤）。
- 樹皮や樹液等を好むため、樹皮剥ぎによって森林生態系に加害するおそれがある（文献④）。

（２）農林水産業等に係わる被害

- 樹皮、種子、果物等を採餌するため、導入された場合には果樹園への加害が予想される（文献②）。
- イタリアでは林業に被害をもたらしている（文献④）。
- 電気ケーブル等を齧るため、工業製品などへの被害がある（文献④）。

○影響をもたらしている要因

（１）生物学的要因

- ベトナム、タイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー等に分布し、原産地では原生林、二次林、植林地など様々な森林環境に生息している（文献⑥⑦）。

- メスの性成熟時期は早く、妊娠期間は短い。年に 1~2 頭を出産するため、個体群増加率は比較的高い（文献⑥⑦）。

（２）社会的要因

- 未判定外来生物に指定された 2005 年以降の輸入は皆無と考えられる。
- 国内での飼養実態としては、埼玉県こども動物自然公園で飼育されているほか、未判定外来生物に指定される以前に輸入された個体が個人によって飼育されている。

○特徴ならびに近縁種、類似種などについて

- 頭胴長 210–220mm。尾長 220–240mm。体色は個体によって赤みがかった栗色から白色まで変異があり、季節によっても体色の変化がみられる（文献③）。
- 系統的にタイワンリスに近縁で、生態的特性は類似している（文献⑤）。

○その他の関連情報

- ハイガシラリス属 (*Callosciurus*) は食性の幅が広く、植物の種子、花、新芽や菌類、昆虫等を主に採餌し、鳥の卵や雛を食べることもある（文献②）。
- 同属のタイワンリスはノミやダニなど数種類の寄生微生物を持ち込み、定着先の生態系に影響を与えている（文献②）。

○主な参考文献

- ① Aloise, G., and Betolino, S. (2005) Free-ranging population of the finlayson' s squirrel *Callosciurus finlaysonii* (Horsfield, 1824) (Rodentia, sciuridae) in south Italy. *Hystrix It. J. Mamm.* 16:70–74
- ② Betolino, S. (2011) *Callosciurus* squirrels: world wide introductions, ecological impacts and recommendations to prevent the establishment of new invasive populations. *Mammal Society/Blackwell Publishing*: 22–33
- ③ Betolino, S., Currado, I., Mazzoglio, J. P., and Amori, G. (2000) Native and alien squirrels in Italy. *Hystrix* 11:65–74
- ④ Betolino, S, and Genovesi, P. (2005) The application of the European strategy on invasive alien species: an example with introduced squirrels. *Hystrix It. J. Mamm* 16:59–69
- ⑤ Dockworth, J.W., Salter, R., and Khounboline, K. (1999) *Wildlife in Lao PDR 1999 status report*. IUCN.
- ⑥ Francis, M. C. (2008) *A guide to the mammals of southeast Asia*. Princeton University Press:331–334
- ⑦ Lekagui, B. (1988). “*Mammals of Thailand*” Darnsutha Press:353–356.